

---

## 小型LPG船、佐々木造船に発注

### ■ クミアイ・ナビゲーション

くみあい船舶100%出資のシンガポール船主、クミアイ・ナビゲーションはこのほど、佐々木造船に5000m<sup>3</sup>型の小型LPG船1隻を発注した。2019年7月に引き渡しを受ける予定。IMO(国際海事機関)のNO<sub>x</sub>(窒素酸化物)三次規制に対応するとともに、燃料油中の硫黄酸化物(SO<sub>x</sub>)を除去するスクラバーを搭載する予定。1隻の追加発注も視野に入れる。

くみあい船舶、クミアイ・ナビゲーションはグループ全体として、LPGなどのクリーンエネルギー事業の拡大を進めており、今

回の発注はこの戦略に沿ったものになる。

今回の発注船の投入先は未定。クミアイ・ナビゲーションの黒柳智丸マネージング・ダイレクターは「東南アジアでのLPG需要が高まっているほか、LPG燃料構想の拡大によってLPG燃料供給船としての需要も出てくると見て、船主として今のうちに備えておくことが必要と考えた」と説明する。

今回の小型LPG船の発注によって、グループのLPG船隊はVLGC7隻(19年・20年竣工船含む)、MGC1隻(19年竣工船)、

1万1000m<sup>3</sup>型2隻、5000m<sup>3</sup>型1隻(19年竣工予定)となり、グループ全体の船隊の約3割をLPG船が占めることになる。

くみあい船舶グループ全体の船隊は発注残を含めて36隻。このうち、クミアイ・ナビゲーションの船隊は今回の発注で新造船を含め17隻となった。その内訳はVLGC6隻(19年、20年竣工船含む)、小型LPG船1隻(19年竣工船)、バルカー10隻(ケープサイズ5隻、スープラマックス4隻、パナマックス1隻)。